

$AB = 1, AC = 1, BC = \frac{1}{2}$ である $\triangle ABC$ の頂点 B から辺 AC に下した垂線と辺 AC との交点を H とする。

(1) $\angle BAC$ を θ と表すとき、 $\cos\theta, \sin\theta$ の値を求めよ。

(2) 実数 s は $0 < s < 1$ の範囲を動くとする。辺 BH を $s : (1-s)$ に内分する点を P とするとき、 $AP^2 + BP^2 + CP^2$ の最小値およびそのときの s の値を求めよ。 (東北大)

ヒント! 平面図形と三角比と2次関数の融合問題なので、図を描きながら解いていこう。(1)では $\triangle ABC$ に余弦定理を用いて、 $\cos\theta$ と $\sin\theta$ を求めればよい。(2)(1)の結果より AH と BH の長さが分かる。 $BP = s \cdot BH$ であり、また、 AP^2 と CP^2 は直角三角形の三平方の定理から s の式で表すことができるので、 $AP^2 + BP^2 + CP^2$ は s の2次関数になるんだね。

(1) $\triangle ABC$ は、 $BC = \frac{1}{2}$

$\left(a = \frac{1}{2}\right), AB = AC = 1 (b = c = 1)$ の

二等辺三角形である。 $\angle BAC = \theta$ と

において、 $\triangle ABC$ に余弦定理を用いると、

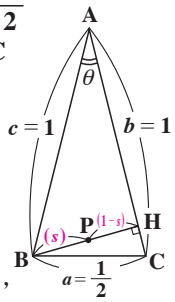
$$\begin{aligned} \cos\theta &= \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc} \\ &= \frac{1^2 + 1^2 - \left(\frac{1}{2}\right)^2}{2 \cdot 1 \cdot 1} = \frac{2 - \frac{1}{4}}{2} \\ &= \frac{7}{8} \dots\dots ① \end{aligned}$$

となる。……………(答)

$$\therefore \sin\theta = \sqrt{1 - \cos^2\theta} = \sqrt{1 - \left(\frac{7}{8}\right)^2}$$

$$= \sqrt{\frac{64 - 49}{64}} = \frac{\sqrt{15}}{8} \dots\dots ②$$

となる。……………(答)



(2) 頂点 B から辺 AC に下した垂線の足を H とおくと、

右図に示すように、直角三角形 ABH ができる。ここで、

$AB = 1$ より、①、②から、

$$\begin{aligned} AH &= \cos\theta = \frac{7}{8} \\ BH &= \sin\theta = \frac{\sqrt{15}}{8} \end{aligned}$$

となる。

$\left(\because \cos\theta = \frac{AH}{AB}, \sin\theta = \frac{BH}{AB}\right)$

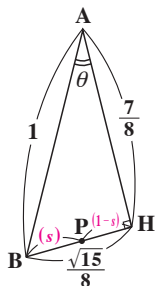
ここで、点 P は線分 BH を $s : (1-s)$ に内分するので、

$$BP = s \cdot BH = \frac{\sqrt{15}}{8} s$$

$$\therefore BP^2 = \frac{15}{64} s^2 \dots\dots ③ \text{ となる。}$$

(ただし、 $0 < s < 1$)

次に、



$$\begin{aligned} PH &= (1-s) \cdot BH \\ &= \frac{\sqrt{15}}{8} (1-s) \end{aligned}$$

より、直角三角形 APH に三平方の定理を用いて、

$$\begin{aligned} AP^2 &= AH^2 + PH^2 \\ &= \frac{49}{64} + \frac{15}{64} (1-s)^2 \dots\dots ④ \end{aligned}$$

となる。さらに、

$$\begin{aligned} CH &= AC - AH \\ &= 1 - \frac{7}{8} \\ &= \frac{1}{8} \end{aligned}$$

より、直角三角形 PCH に三平方の定理を用いて、

$$\begin{aligned} CP^2 &= CH^2 + PH^2 \\ &= \frac{1}{64} + \frac{15}{64} (1-s)^2 \dots\dots ⑤ \end{aligned}$$

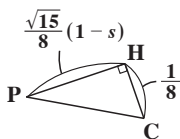
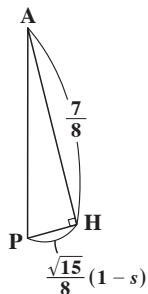
となる。

以上③、④、⑤より、

$AP^2 + BP^2 + CP^2$ を s の関数

$f(s)$ ($0 < s < 1$) とおくと、

$$\begin{aligned} f(s) &= AP^2 + BP^2 + CP^2 \\ &= \frac{49}{64} + \frac{15}{64} (1-s)^2 + \\ &\quad \frac{15}{64} s^2 + \frac{1}{64} + \frac{15}{64} (1-s)^2 \\ &= \frac{15}{64} \{s^2 + 2(1-s)^2\} + \frac{25}{32} \\ &\quad \boxed{s^2 + 2(s^2 - 2s + 1) = 3s^2 - 4s + 2} \end{aligned}$$



$$\begin{aligned} &= \frac{15}{64} (3s^2 - 4s + 2) + \frac{25}{32} \\ &\quad \boxed{3\left(s^2 - \frac{4}{3}s + \frac{4}{9}\right) + 2 - \frac{4}{3}} \\ &\quad = 3\left(s - \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{2}{3} \\ &= \frac{15}{64} \left\{3 \cdot \left(s - \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{2}{3}\right\} + \frac{25}{32} \end{aligned}$$

より、

$$\begin{aligned} f(s) &= \frac{45}{64} \left(s - \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{5}{32} + \frac{25}{32} \\ &= \frac{45}{64} \left(s - \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{15}{16} \end{aligned}$$

($0 < s < 1$) となる。

よって $f(s)$,

すなわち $f(s) = \frac{45}{64} \left(s - \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{15}{16}$

$AP^2 + BP^2$

+ CP^2 は、

$s = \frac{2}{3}$ のと

き、最小値：

$f\left(\frac{2}{3}\right) = \frac{15}{16}$ をとる。……(答)

